

青少年健全育成だより

第110号

回覧

青少年健全育成市民会議六郷支部

令和4年1月10日

六郷地区センター

TEL 35-3459



第8回

子育てフォーラムを開催

◆主催 菊川市青少年健全育成市民会議六郷支部
◆共催 おやし俱樂部

第八回子育てフォーラムが十一月二十八日(日)午前中、六郷地区センターで開催されました。このフォーラムは、六郷地区をみんなで力を合わせて子育てしていくために、どんなことに取り組んでいったらいいか、日頃考えていることや直面している問題などを気楽に話してもらおう「子育て井戸端会議」です。

参加者は、中央こども園、双葉こども園、堀之内幼稚園、愛育保育園の園長先生・保護者代表、六郷小学校、牧之原中学校、菊川東中学校、菊川西中学校の校長先生・PTA代表、市議会議員、関係者を合わせて三十一名です。

今回は昨年に引き続き、コロナ禍の状況での困ったことを中心に、幼保育園と小中学校の二つのグループに分かれて自由に意見を出し合いました。

～ 幼保育園グループの話し合い ～



～ 小中学校グループの話し合い ～



～グループの取りまとめ報告が伊藤
おやじ倶楽部部長からありました～

～最後に感想を話す市議会議員の皆さん～



各グループで出た主な内容

◆幼保育園グループ

【コロナ禍の状況で】

・スマホを0才児から使う環境（スマホの子守り子育ては手がかかる。便利なものに子どもの感性が奪われている。）

・家にいることが多く、テレビなど見ていることが多い。お互いにイライラしてしまうことが多い。

【スマホ、PC、タブレット】

・タブレット・スマホばかり使っていると共感力、コミュニケーション力が弱くなってトラブルを解決する力も弱くなっていると感じる。

・スマートメディアとの向き合い方について、小学校以降の授業等で学ぶ場があるのか？ 楽しく安全な使い方のベースになる取り組みがほしい。

【地域】

・同じ地区の子どもと交流が少ない。

・放課後の遊び方や過ごし方が、大きく変わった。

【戸外公園】

・児童館が二つあるがどちらも日・月休み。ずらしてほしい。

・公園によって整備されている所、いない所の差が大きい。

◆小中学校グループ

【コロナ禍でこんなことが困っている・悪くなった】

・平日でも寝る時間が遅く、週末だと深夜まで起きている事が多くなった。

・ステイホーム中、生活のリズムは変わらないが消費エネルギーが少ないため食事が不規則になった。

・マスク着用が当たり前になり外すことへの抵抗が出てしまった。表情を読み取ることが難しくなったので、コミュニケーションが取りにくく、相手を認識できなくなり、関りがどうしても減ってしまい、人とのふれ合いがどうしても減り、寂しさを感じる。

【スマホ、PC、タブレットについて】

・子どもたちが大人になるころには、今より全てがデジタル化していると思うので、iPadやPCに慣れておくのは良いことだと思う。

・「ちょっと待って」が増えた。動画のキリが良いところまで止められない。

・子どもたちも素顔を出せないのが消極的になりがちだったり、感情を出すこともしなくなったり、SNSの淡白なコミュニケーションになっているような物足りなさを感じる人が多い。

【地域、学校、行政への要望】

・お祭りがなくなった事で子どもがどこの家の子か、どの人が親か分からなくなって寂しく感じる。みんなが定期的に集まる機会があったら良いと思う。

この他の、載せきれない参加者の皆様からの貴重なご意見についての報告は、「六郷地区まちづくり協議会ホームページ」に掲載していますので、ご覧ください。・・・『六郷まち協』で検索出来ます。

参加者の皆様、ご参加いただきありがとうございます。ございました。